

ニ向ツテハ正義ヲ基調トスル自主外交ニ依テ大亞細亞主義ノ經綸ヲ斷行シテ大和民族ノ海外發展ト皇道ノ四海宣揚トヲ徹底セシメントスルニアリ是實ニ本會ノ信條ニシテ又テ昭和維新ノ聖猷ニ應フル臣道ナリ
吾人ハ茲ニ其ノ信條ヲ披瀝シテ廣ク天下同憂ク士ニ師ヘ其結束提携ヲ策シテ天地公正ノ道ヲ邁進シ塞々匪躬ノ節ヲ盡シテ内憂外患ノ國難ニ當ラントス敢テ國民ノ厥起奮闘ヲ望ム

明倫會主義綱領

- 一、皇祖肇國ノ神勅ヲ奉戴シテ天壤無窮ノ我國體ヲ尊重シ忠君愛國及献身奉公ノ至誠ト道義の觀念トノ普及徹底ヲ期ス
- 二、既成政黨ノ積弊ヲ打破シテ天皇政治ノ確立及國家本位ノ政治ノ遂行ヲ期ス
- 三、退嬰追從外交ヲ排シテ自主ト正義トヲ基調トスル外交ヲ斷行シ以テ國威國權ノ宣揚發展ヲ圖リ且ツ大亞細亞主義ノ實現ヲ期ス
- 四、統帥大權ノ發動並國際的軍備平等權ヲ確保シ以テ自主的國防ノ安固ヲ期ス
- 五、根本的行政財政及稅制ノ整理ヲ斷行シ且產業ノ振興中正ナル經濟政策ノ遂行並民族ノ海外發展ニ依テ國力ノ充實及國民生活ノ安定ヲ期ス

明倫會八幡支部規約

- 第一條 本會ヲ明倫會八幡支部ト稱ス
 - 第二條 本會ノ目的ハ明倫會ノ主義綱領ヲ實施貫徹セントスルニアリ
 - 第三條 本會ハ前條ノ目的達成ノ爲メ總會及役員會ニ於テ決定セル事項ノ外概テ左ノ業務ヲ行フモノトス
一、各種ノ調査研究
二、明倫會ニ於テ發行スル機關雜誌並文書ノ普及
三、講演會及演說會ノ開催
四、青年ノ指導訓練
 - 第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
一、支部長 一名 副支部長 二名
二、顧問及相談役 若干名
三、理事長 一名 理事 若干名
四、會計 一名
五、評議員 若干名
理事長、理事、會計及評議員ノ任期ハ貳ケ年トシ重任ヲ妨グス各役員ノ選任並其職務左ノ通り
一、支部長及副支部長ハ總會ニ於テ推戴ス
二、支部長ハ本會ヲ統轄シ且之ヲ代表ス
三、副支部長ハ支部長ヲ補佐シ支部長事故アルトキ之ヲ代理ス
四、顧問及相談役ハ支部長之ヲ委囑シ本會ノ樞機ニ參畫ス
五、理事長ハ評議員中ヨリ支部長之ヲ指名シ支部長ノ命ヲ承ケ諸般ノ會務ヲ掌理ス
六、理事ハ評議員中ヨリ支部長之ヲ指名シ理事長ヲ援ケテ會務ヲ分掌ス
七、會計ハ評議員中ヨリ支部長之ヲ指名シ會計事務ヲ掌ル
八、評議員ハ會員中ヨリ理事會ノ推薦ニ依リ支部長之ヲ指名ス
 - 第六條 評議員會ハ支部長、副支部長、理事長、理事、評議員ヲ以テ構成シ所要ニ應ジ支部長之ヲ召集シ會務ノ大綱ヲ議決ス
 - 第七條 評議員會ハ支部長、副支部長、理事長、理事、評議員ヲ以テ構成シ所要ニ應ジ重要ナル會務ヲ審議ス
 - 第八條 顧問及相談役ハ隨時理事會ニ出席シ會議ニ參加スルコトヲ得
 - 第九條 本規約ニ規定セザル會員及會計ニ關スル事項ハ明倫會規約第六章及第七章各條ノ規定ヲ準用ス
- 參照 (明倫會規約抜萃)
- 第十六章 會員
第一條 會員ハ本會ノ主旨目的ニ賛同シ協心戮力之ヲ遂行シタルモノトス
 - 第二條 本會ニ入會セントスルハ規定ノ入會書ニ會員貳名以上ノ紹介ヲ受ケ本部若クハ支部ニ提出シ總裁ノ承認ヲ受クルモノトス
 - 第三條 會員カ本會ノ主義綱領又ハ規約ニ違反シ本會ノ體面ヲ汚損スル行為アリト認ムル時ハ理事會ノ決議ニヨリ戒告又ハ除名スルコトアルベシ
- 第七章 會計
第一條 本會ノ會計年度ハ四月一日ヨリ翌三月三十一日迄トス
- 第一條 本會ノ經費ハ左ノ收入ヲ以テ充當ス
一、會費
二、其他ノ雜收入

昭和八年九月十七日

八幡市德廣町一丁目 明倫會八幡支部